

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2008年3月10日～3月14日)

発表日: 2008年3月7日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(3月10日～3月14日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
3月10日 (月)	8:50 1月機械受注 船電除く民需 (前月比)	+2.5%	+2.7%	▲1.3%～+5.7%	▲3.2%
	(前年比)	▲4.5%	▲4.5%	▲8.0%～▲1.5%	▲3.3%
	8:50 2月マネーサプライ M2+CD(前年比)		+2.1%	+2.0%～+2.2%	+2.1%
	広義流動性(前年比)		+3.5%	+3.4%～+3.8%	+3.6%
	8:50 2月貸出・資金吸収動向				
	国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+1.1%
	13:30 1月特定サービス産業動態統計	—	—	—	—
	14:00 2月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	31.8
	先行き判断 DI	—	—	—	35.8
3月11日 (火)					
3月12日 (水)	8:50 10-12月期 GDP2次速報				
	実質 GDP 成長率 (前期比)	+0.7%	+0.6%	+0.4%～+0.8%	+0.9%
	(同年率)	+2.8%	+2.4%	+1.5%～+3.2%	+3.7%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	+0.1%	▲0.1%	▲0.3%～+0.2%	+0.3%
	GDP デフレーター (前年比)	▲1.3%	▲1.3%	▲1.4%～▲1.2%	▲1.3%
	8:50 2月企業物価指数 (前月比)	+0.4%	+0.3%	▲0.2%～+0.8%	+0.2%
	(前年比)	+3.4%	+3.3%	+3.0%～+3.8%	+3.0%
	8:50 1月国際収支 経常収支(前年比)	▲0.3%	—	—	▲4.7%
	(原数値)	11,400 億円	12,490 億円	8,230 億円～18,478 億円	16,972 億円
	8:50 金融政策決定会合議事要旨 (2月14・15日分)				
	14:00 2月消費動向調査				
	消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	37.5
	野田日銀審議委員挨拶				
3月13日 (木)	13:30 1月鉱工業生産指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲2.0%
	(前年比)	—	—	—	+2.5%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+1.7%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	+1.1%
	13:30 1月商業販売統計・確報				
	小売業販売額(前年比)	—	—	—	+1.5%
3月14日 (金)	8:50 2月製造業部門別投入・産出物価指数				
	交易条件(前月差)	—	—	—	+0.2%pt
	(前年差)	—	—	—	▲2.5%pt

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

12日には10-12月期GDP2次速報が公表される。1次速報では前期比年率+3.7%と極めて高い伸びだったが、同+2.4%に下方修正されるとの見方がコンセンサス(第一生命経済研究所は同+2.8%を予想)。先日公表された法人企業統計が弱めであったため下方修正は避けられないところではあるが、依然+2%を上回るとの予想が多く、「10-12月期は強め」という姿自体は変わらない。過去の統計ということもあり、よほど下振れることがない限り、反応は限定的だろう。

先行きという意味では、むしろ1月の機械受注の重要度が高い。法人企業統計における2四半期連続の減益等、設備投資に逆風が吹き始めているため注意が必要。振れが大きいという難はあるが、海外からの受注

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

動向などにも注目したいところだ。また、2月景気ウォッチャー調査、消費動向調査といったマインド統計の落ち込みに歯止めがかかるかどうかといった点にも注目したい。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

【重要指標の当社予測とコメント】

10-12月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 +2.8% 中央値：同 +2.4%

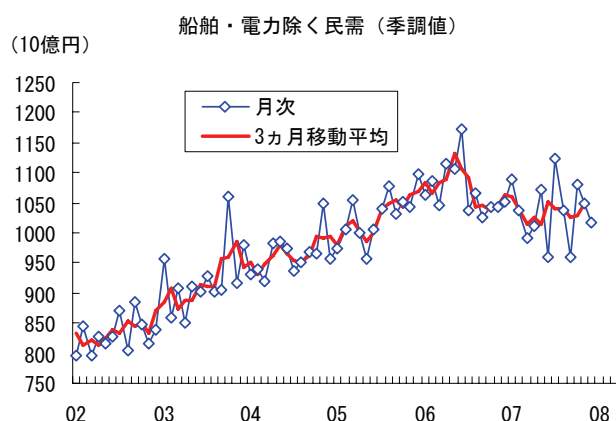
前期比+0.7%（前期比年率+2.8%）を予想する。10-12月期の法人企業統計季報を受けて、設備投資は前期比+1.6%と、1次速報段階の同+2.9%から下方修正されると予想する。民間在庫投資については、対GDPの前期比寄与度が+0.1%ポイントと、1次速報から変わらずと予想する。下方修正ではあるが、前期比年率+2.8%という数字は潜在成長率をはっきり上回っており、決して弱いわけではない。「2007年後半については、住宅部門の大きな下押しがあったにもかかわらず景気が底堅い推移を続けていた」という認識に変更を迫るものではないだろう。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

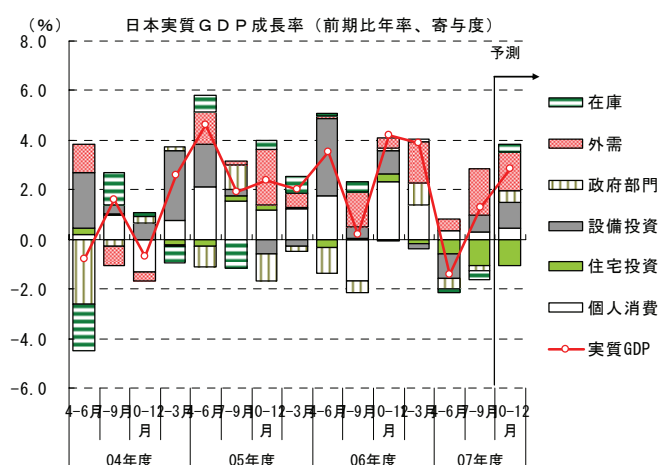
1月国際収支・経常収支（原数値） 当社予想：1兆1400億円 中央値：1兆2490億円

1月の経常黒字額は前年比▲0.3%、原数値で1兆1400億円を予測する。すでに発表された貿易統計をみると、輸出はアメリカ向けが引き続き減少したものの、欧州向けやアジア向けが高い伸びとなり、堅調さを保った。一方、輸入は原油価格高騰を背景に高い伸びが続いたため、貿易収支は赤字になったと予想する。所得収支については資産残高の増加を背景に黒字幅の拡大基調は続いたとみる。全体としてみれば、原油価格高騰に伴う貿易収支赤字を所得収支が埋め合わせ、経常黒字は前年横ばい程度を維持したと考える。（副主任エコノミスト：柵山順子）

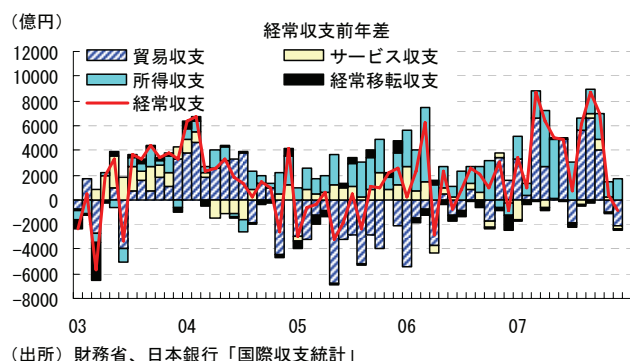
図表 1



図表 2



図表 3



3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/3 1月毎月勤労統計(10:30) 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) (米)2月自動車販売 (米)1月建設支出 (欧)2月消費者物価(速) (欧)2月製造業PMI(確定値) (中)2月製造業PMI (印)1月貿易統計 (香港)1月小売売上高 (タイ)2月消費者物価指数	4 2月マネタリーベース(8:50) 1月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (欧)10-12月期GDP(確)	5 10-12月期法人企業統計(8:50) (米)10-12月期非農業部門労働生産性(確) (米)1月製造業受注 (米)2月ISM非製造業指数 (米)ページブック (豪)10-12月期実質GDP (タイ)2月消費者物価	6 1月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～7日) (米)2月国内自動車販売 (米)1月中古住宅販売保留 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)1月製造業受注 (仏)10-12月期ILO失業率統計	7 3月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高 (独)1月鉱工業生産
10 1月機械受注統計(8:50) 2月マネーサプライ(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 2月景気ウォッチャー調査(14:00) (米)1月初売在庫 (英)2月生産者物価 (独)1月貿易統計 (仏)1月鉱工業生産 ※(中)2月貿易統計	11 5年利付国債 (米)1月貿易収支 (中)2月消費者物価	12 10-12月期GDP2次速報(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月国際収支(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月14・15日分)(8:50) 2月消費動向調査(14:00) 野田日銀審議委員挨拶 (米)2月財政収支 (英)1月景気判断指数 (仏)2月消費者物価 (中)2月小売売上 (印)1月鉱工業生産	13 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) (米)2月輸入物価 (米)1月企業在庫 (米)2月小売売上高 (中)2月鉱工業生産	14 2月投入・産出物価指数(8:50) (米)2月消費者物価 (米)3月ミシガン大消費者センチ(速) (独)2月消費者物価
17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月景気動向指数改訂(14:00) 1月建設総合統計(14:00) ※3月月例経済報告 (米)2月鉱工業生産 (米)10-12月期経常収支 (米)1月対米証券投資 (米)3月NAHB住宅市場指数 (米)3月NY連銀製造業指数 (シンガポール)2月貿易統計	18 2月全国百貨店売上高(14:30) 20年利付国債 (米)FOMC (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 (英)2月消費者物価	19 3月ロイター短観(8:30) 1月全産業活動指数(8:50) (英)2月雇用統計	20 (米)2月景気先行指標 (米)3月フィラ連銀指数 (欧)3月製造業PMI(速報値) (英)2月小売売上高 (独)2月生産者物価 ※(韓)10-12月期実質GDP	21 10-12月期資金循環(8:50) 2月コンビニエンスストア統計(16:00)
24 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) 平成20年地価公示(16:50) (米)2月中古住宅販売件数(シンガポール)2月消費者物価 ※(ベトナム)1-3月期GDP	25 2年利付国債 (米)3月CB消費者信頼感指数	26 2月企業向けサービス価格指数(8:50) ※2月貿易統計(8:50) (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数 (仏)3月企業景況感指数 (シンガポール)2月鉱工業生産	27 須田日銀審議委員挨拶 (米)10-12月期実質GDP(確定値) (米)2月求人広告指数 (香港)10-12月期実質GDP	28 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月商業販売統計(8:50) (米)3月ミシガン大センチ(確) (米)3月個人所得・消費 (米)3月PCEデフレーター (英)10-12月期実質GDP(確) (仏)10-12月期実質GDP(確)
31 2月鉱工業指数(8:50) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シンゴPMI (欧)3月消費者物価(速) (タイ)2月製造業売上高	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)3月ISM製造業指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売 (欧)3月製造業PMI(確) (印)2月貿易統計	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)2月製造業受注	3 10年物価連動国債 (米)3月ISM非製造業指数 (欧)3月非製造業PMI	4 (米)3月雇用統計 (独)2月製造業受注

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/31 2月鉱工業指数(8:50) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) <i>(米)3月シカゴPMI</i> <i>(欧)3月消費者物価(速)</i> <i>(タイ)2月製造業売上高</i>	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 <i>(米)3月ISM製造業指数</i> <i>(米)2月建設支出</i> <i>(米)3月自動車販売</i> <i>(欧)3月製造業PMI(確)</i> <i>(印)2月貿易統計</i>	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) <i>(米)2月製造業受注</i>	3 10年物価連動国債 <i>(米)3月ISM非製造業指数</i> <i>(欧)3月非製造業PMI</i>	4 <i>(米)3月雇用統計</i> <i>(独)2月製造業受注</i>
7 2月景気動向指数(14:00) <i>(米)2月消費者信用残高</i> <i>※(シンガポール)1-3月期実質GDP</i> <i>(独)2月鉱工業生産</i> <i>(中)1-3月期景況感指数</i> <i>(タイ)2月消費者物価</i>	8 3月景気ウォッチャー調査 金融政策決定会合(～9日) <i>(米)2月中古住宅販売保留</i> <i>(米)FOMC議事録(3/18)</i>	9 4月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) <i>(独)2月貿易統計</i> <i>(英)2月鉱工業生産</i>	10 2月機械受注統計(8:50) 3月マネーサプライ(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50) 2月国際収支(8:50) 2月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 5年利付国債 <i>(米)2月貿易収支</i> <i>(米)3月財政収支</i> <i>(欧)ECB理事会</i> <i>(英)BOE金融政策決定会合</i> <i>(仏)2月鉱工業生産</i>	11 3月企業物価(8:50) <i>(米)3月輸入物価</i> <i>(米)4月シガン大消費者センチ</i> <i>(速)</i> <i>※(印)2月鉱工業生産</i> <i>※(中)3月貿易統計</i>
14 金融政策決定会合議事要旨(3月6・7日分)(8:50) <i>(米)3月小売売上高</i> <i>(米)2月企業在庫</i>	15 3月投入・産出物価指数(8:50) 2月商業販売統計・確(13:30) 2月建設総合統計(14:00) 30年利付国債 <i>(米)4月NY連銀製造業指数</i> <i>(米)2月対米証券投資</i> <i>(米)4月NAHB住宅指数</i> <i>(欧)3月消費者物価</i>	16 ※4月月例経済報告 <i>(米)3月消費者物価</i> <i>(米)3月住宅着工件数</i> <i>(米)3月建設許可件数</i> <i>(米)3月鉱工業生産</i> <i>(米)ページブック</i> <i>(独)3月消費者物価(確)</i>	17 4月ロイター短観(8:30) 2月毎月勤労統計・確(10:30) 2月鉱工業指数・確(13:30) <i>(米)3景気先行指数</i> <i>(米)4月フィラ連銀指数</i> <i>(中国)1-3月期実質GDP</i> <i>(シンガポール)3月貿易統計</i>	18 3月消費動向調査(14:00) ※3月全国百貨店売上高(14:30) <i>(中)3月鉱工業生産</i>
21 2月第3次産業活動指数(8:50) 2月景気動向指数改訂(14:00) ※3月チェーンストア販売統計(14:00) 3月コンビニエンスストア統計(16:00) <i>※(ベトナム)4月消費者物価</i>	22 ※企業行動に関するアンケート調査(14:00) 20年利付国債 <i>(米)3月中古住宅販売件数</i>	23 ※3月貿易統計(8:50) ※4月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) <i>(シンガポール)3月消費者物価</i>	24 3月企業向けサービス価格指数(8:50) 2月全産業活動指数(8:50) 2年利付国債 <i>(米)3月耐久財受注</i> <i>(米)3月新築住宅販売件数</i> <i>(米)3月求人広告指数</i> <i>※(欧)4月製造業PMI(速報値)</i> <i>(独)4月Ifo景況感指数</i>	25 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) <i>(米)4月シガン大消費者センチ(確)</i> <i>(英)1-3月期実質GDP</i> <i>(韓)1-3月期実質GDP</i>
28 3月商業販売統計(8:50) <i>※(ベトナム)4月貿易統計</i>	29 <i>(米)4月CB消費者信頼感指数</i> <i>(香港)3月小売売上高</i>	30 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 <i>(米)1-3月期実質GDP(速報値)</i> <i>(米)1-3月期雇用コスト指数</i> <i>(米)4月シカゴPMI</i> <i>(欧)4月消費者物価(速)</i> <i>(米)FOMC</i>	5/1 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) <i>(米)3月個人所得・消費</i> <i>(米)3月建設支出</i> <i>(米)3月PCEデフレーター</i> <i>(米)4月ISM製造業指数</i> <i>(米)4月自動車販売</i>	2 4月マネタリーベース(8:50) <i>(米)4月雇用統計</i> <i>(米)3月製造業受注</i>

(※)印は期日が未定のもの